

CJP2 Series パッキン交換要領 ①

⚠注意

チューブ内径4mmのパッキン交換は、当社に修理を依頼してください。
チューブ内径4mmは分解不可のため、パッキン交換時等で分解の必要が生じた場合は、当社に修理を依頼してください。

1 シリンダの分解

①外観の清掃

分解時にゴミや異物がシリンダ内に侵入しないように外観の汚れを取り除いてください。

特にピストンロッド表面には注意をお願いします。

②止め輪の取外し

適正なプライヤを使用して止め輪を取外してください。

③ヘッドカバーの取外し

ピストンロッドをヘッド側に押して、ボディからヘッドカバーを取外してください。

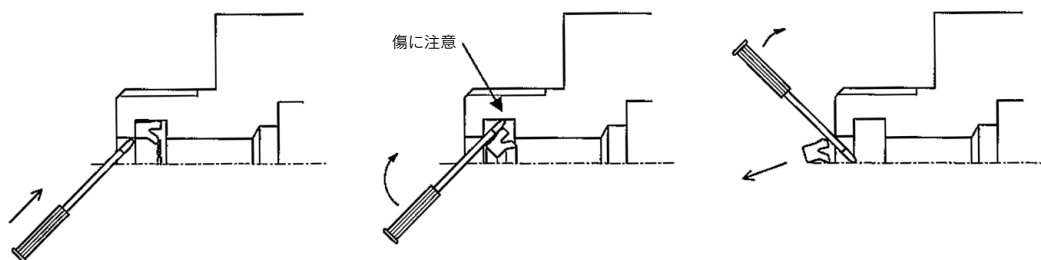
④分解

ピストンロッドを引抜きます。その際、ボディ内径に傷を付けないように注意してください。

2 パッキンの取外し

①ロッドパッキン

ボディ前面から精密ドライバーなどを差込み抜き取ります。
ボディのパッキン溝を傷つけないように注意してください。

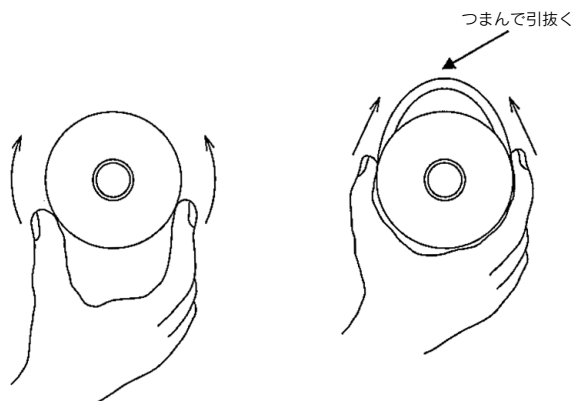


②ピストンパッキン

ピストンパッキン溝は深いため、精密ドライバーではなく手でピストンパッキン周囲の一方から押し出すようにして浮き出たところを引抜きます。

③ガスケット (右図参照)

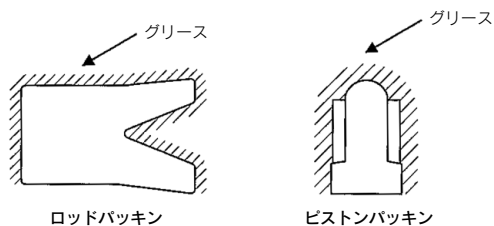
手で一方から押し出すようにして、浮き出たところを引抜きます。



CJP2 Series パッキン交換要領 ②

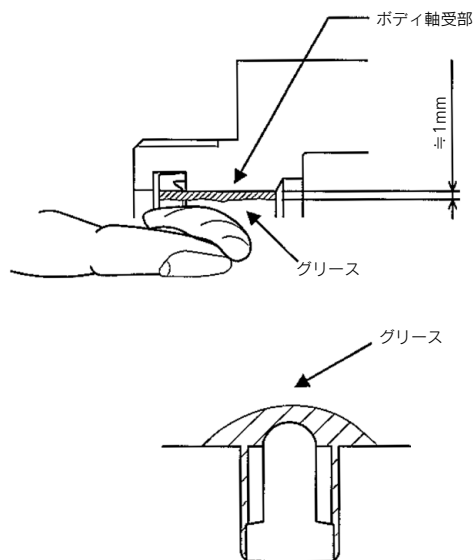
3 グリスの塗布

- ①ロッドパッキンおよびピストンパッキン
交換用パッキンの全周に薄くむらなく塗布してください。
- ②ガスケット
グリスを薄く塗布してください。



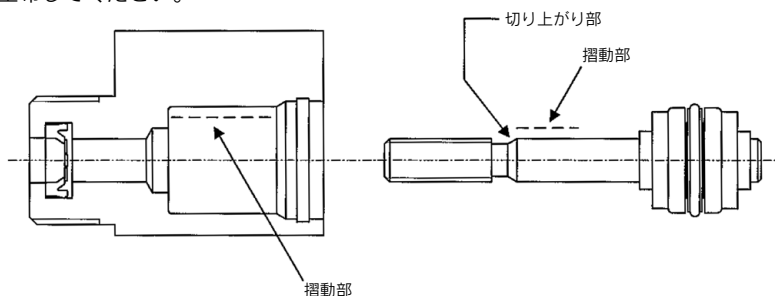
4 パッキンの装着

- ①ロッドパッキン
ロッドパッキンの方向を間違えないように装着してください。
装着後にグリスをロッドパッキンとボディ軸受部にむらなく塗布してください。
- ②ピストンパッキン
パッキンがねじれないように装着してください。
装着後にグリスをピストンパッキン溝部に充填してください。
- ③ガスケット
脱落に注意し、装着してください。



5 グリスの塗布

- ①シリンダ各部品
各部品にグリスを塗布してください。



6 シリンダの組立

- ①ピストンロッド Ass'y の挿入
ボディにピストンロッド Ass'y を挿入してください。
- ②ヘッドカバー Ass'y の挿入
ボディにヘッドカバー Ass'y を挿入してください。
- ③止め輪の装着
適正なプライヤを使用して止め輪を装着してください。
- ④組立確認
パッキンシール部よりエア漏れが生じていないか、最低作動圧力でスムーズに作動するか確認をお願いします。